



秋も深まり、朝夕はめっきり冷え込む様になりました。鶴見養護学校「学習発表会」が11月9日と16日の2日間の日程で開催されました。

どの学年も決して無理することなく、日頃の学習の成果を大勢の前で立派に披露することができました。

体育で学んだ平均台、マット、ボール投げ、縄跳び。ダイナミックなパフォーマンスに思わず拍手です。楽しい選曲によるダンスでは、身体が思わず動き出し、素敵な笑顔が見られました。

音楽では、ピアノカ、木琴、ベル、太鼓など一生懸命自分のパートを演奏している真剣な眼差しに感動です。



学年ごと背景画や衣装の制作にも取り組み、演目にあった個性あふれたものに仕上がっていました。

また、今年は高等部で展示や出店など新たな試みがありました。輪投げや景品、小物等必要グッズの制作、壁面の装飾など表現する場は舞台だけでなく様々なところにあり、多くの方々と関わりそれぞれの手段でコミュニケーションも高めることのできた時間でした。

そして、この2日間は何より一緒に学ぶ仲間や先生との信頼感や一体感を高めることができた思い出に残る経験になったことでしょう。



今年度の鶴見養護学校は、「社会に開かれた教育課程の創造～表現活動の充実～」と題して、授業改善を行っています。自分の心にあるものを身体や言葉、身振り、書く、描くなど様々な手段で表現する。その表現による楽しさや喜びを味わうことができる。一人ひとりの内面にある世界を広げ、いきいきした活動、輝ける活動の種をあちこちにまくことができるような題材、支援方法を検討しています。学習発表会はまさにこの集大成であったと思います。

おもしろい、たのしい、すっきり、やったー そんな気持ちが次の活動の原動力にもなり、さらには人との関わりをも広げていける表現活動を今後も推進していきたいと思います。

保護者や地域の方々、ご参観ありがとうございました。

